

新商品開発を通じて補助金を活用し設備を導入、プロジェクトチームで販路開拓へ

課題

最終消費者向け商品販売に行き詰まり

ウーブンナック株式会社は、昭和17年に先代が繊維製品製造業を創業、昭和23年から「織ネーム」などを製造し、昭和43年に法人化した。

現在、同社は、織技術や高機能素材を用いた開発力の強みを活かし、アパレルメーカーや繊維製品メーカーを通じて、世界的に有名なブランドの織ネームの製造も手がけている。

一方、洗濯機に洗濯物と一緒に入ると消臭効果が期待できる消臭布や接触涼感機能を活かしたマスクのヘッドギア（ベルト）等、最終消費者向けの商品開発も進めている。しかし、織ネームと販売ルートが異なるため、販路開拓に苦労しており、かつ、商品を認知してもらうためには相当の広告宣伝が必要となることから、本事業は岐路に立たされていた。

支援

他社ができない技術を用いた織ネーム開発を支援

鶴来商工会による巡回指導の際、同社経営者は、主柱の織ネームとは別に2本目の柱となる事業を構築したい、最終消費者向けの商品を開発・販売していきたい、との意向を示したことから、商品アイデアの内容を確認した。

この話を受け、商工会において商品アイデアに対する市場調査などを行ったが、期待するほどの需要が見込めないとの結果に至った。これを踏まえ、2本目の柱の構築方針を転換し、商工会は、主柱の織ネームのさらなる市場展開を図ることに力を注ぐことを提案し、用途や使用者が異なる商品開発を進めることとなった。そして早速、織ネーム事業のSWOT分析を行ったところ、世界的に見ても同社しかできない技術がいくつもあることが判明した。

この世界的な技術を活かした商品の開発について、経営者、商工会が議論を重ねた結果、試作段階で止まっていた「世界一柔らかな織ネーム」に着目、市場に受け入れられるようブラッシュアップし、商品化することとした。その後、素材の選考、製造技術の確立、必要な設備のリストアップなどを進め、量産化のひとつの道筋をつけた。

そして、後継者や工場長などを引き込み、「世界一柔らかな織ネーム」プロジェクトチームを発足させ、素材の仕入先の選定、購入を期待できる既存顧客の洗い出しなど、さまざま



工場内の様子

まなヒアリングを実施したところ、十分なニーズがあることが確認できた。また、設備の導入を目指し、ものづくり補助金を申請したところ、幸運にも採択され、事業展開の大きなチャンスが広がった。

同時期に、公益財団法人石川県産業創出支援機構が主催する地元の学生と企業とのコラボ企画に商工会が同社を推薦したところ、選考され、新たに織技術を活かしたインテリア商品の企画検討がスタートした。

今後は後継者を中心として、これらの新たな事業展開が軌道に乗るよう支援を継続していく予定である。

支援の経過

期間	支援内容
H26年4月	活性化ファンドの申請支援
H29年4月	活性化ファンドの申請支援
H30年3月	ものづくり補助金の申請支援
4月	経営力向上計画の策定支援
7月	地元企業×地元学生のコーディネート支援

会社概要

会社名：ウーブンナック株式会社
 所在地：石川県白山市鶴来本町4-72
 電話番号：076-272-0870
 URL：http://www.wovenac.com/
 代表者名：西弘三
 創業年：昭和43年
 年間売上高：2億1820万円（平成30年）
 従業員数：12名
 商工会名・担当者名：鶴来商工会・西川兼正